VIEWTEC

ナイスヴューモニター

VH-S20

モニター型式：VH-M20　カメラ型式：VH-C20W

VH-S20-S

モニター型式：VH-M20　カメラ型式：VH-SC20W

VH-S20-K

モニター型式：VH-M20　カメラ型式：CCN-115-05

取扱説明書

目次

ご使用になる前に.....2
1. 製品構成.....5
2. 接続.....6
3. 車両への取り付け.....9
4. モニターの操作.....24
保証書.....裏表紙

このたびは、日本ヴューテックナイスヴューモニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために
取り付け前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、安全に正しく取り付けてください。
この「取扱説明書」の記載内容、外観（モニター含む）および仕様は予告なく変更される場合がございます。

保証書（裏表紙をご覧ください）は、お買い上げの販売店で記入いたします。
内容をよくご確認の上、この「取扱説明書」と一緒に大切に保管してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示を使用しています。
その表示と意味は、次のようになっています。
取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解のうえ正しくお使いください。

警告	この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容または、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
	一般的な禁止行為を告げるものです。
	分解の禁止を告げるものです。
	警告･注意を告げるものです。

警告

	本機を運転や視界の妨げになる位置には取り付けない。 エアーバッグなど安全装置の妨げになる位置やシフトレバー、ブレーキペダル付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。
	取り付けには車の保安部品のボルトやナットを絶対に兼用しない。 ステアリングやブレーキなど保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると制動不良･事故･発火の原因となります。
	故障や異常な状態のまま使用しない。 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
	電源リード線の被覆を剥いて他の機器の電源を接続しない。 リード線の電流容量がオーバーして火災や感電の原因となります。

警告(つづき)

	本機を分解・改造しない。 事故や火災、感電の原因となります。
	正しく配線する。 正しく配線しないと発火や事故の原因となります。特にリード線などがねじやシートレールなどの可動部にかみ込まないよう配線してください。またステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付かないよう固定してください。
	配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す。 ショートによる感電や怪我の原因となります。
	車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないよう注意する。 パイプ類などの破損により火災や故障などの原因となります。
	接続ケーブル類の配線は、高熱部を避ける。 排気管やエンジンの付近に配線すると高熱のためケーブル被覆が溶けてショートや断線の危険があり、発火や故障の原因となります。
	本機の取り付けや取り付けの変更は、安全のため必ずお買い上げの販売店または最寄りの弊社代理店に依頼する。 専門技術と経験が必要です。
	カメラは車幅以内に取り付ける。 カメラは、車幅からはみ出さない場所、および車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けてください。歩行者などに接触して事故の原因となります。
	電源コードやその他コードは、運転の障害とならないように配線する。 ・ブレーキやアクセルなど可動部分の近くに配線しないでください。 ・配線が手や足にさわらないように注意してください。
	運転中は、本機を操作しない。 必ず安全な場所に車を停車させてから操作してください。交通事故の原因となります。
	モニター画面だけを見ながらバックしない。 カメラには、死角(映らない部分)があり事故の原因となります。
	運転中はモニターをさわらない。 不用意にさわると多少の温度差でも大変熱く感じることがあります。
	画面が正常に映されていないと感じたらスピードを落とし、画面を凝視しない。 ・すみやかに安全な場所に車を止めて、カメラやコードが外れたりしていないか確認してください。 ・強い光がカメラに写るとモニター画面の上下に大きく縦縞が表示されることがありますが、故障ではありません。光が画面の外に移動すると表示されなくなります。 ・違法無線など強い電波を発する車の近くや強い電磁波を発生している施設の近くでは画像が乱れることがありますが故障ではありません。
	ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(5A)のヒューズを使用する。 規定容量以上のヒューズを使用すると火災の原因となります。
	運転の前にモニターの取り付け位置を確認する。 モニターなどが取り付けられていることの認識が浅い方が車をご利用になるときは、うっかり手や頭などをぶつけて安全運転に支障をきたすことがあります。ご注意ください。
	雷がなりだしたら本機および配線に触れない。 感電の原因となります。

⚠ 注意

⚠	**コード(カメラ接続用ハーネス、電源ケーブルなど)をはさみ込んだり引っ張ったりしない。** ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。
⚠	**本機を落下させたり、衝撃を加えたりしない。** 衝撃を加えると故障や火災発生の原因となることがあります。
⚠	**車体のねじ(保安部品取り付け用のボルト、スクリュー以外のねじ)を使用して取り付ける。** ねじがゆるまないように確実に締め付けてください。 ねじがゆるむと事故や故障などの原因となることがあります。
❗	**エンジン停止時はモニターの電源を切る。** バッテリーが上がり、エンジンがかからなくなることがあります。
❗	**必ず付属の部品を指定通りに使用する。** 指定以外の部品を使用すると機器内部の部品を傷めたり、確実に固定できずに外れたりして事故や故障などの原因となることがあります。
❗	**接続終了後は、ケーブル類をクランプや絶縁テープなどで固定する。** ケーブル類がゆるむと車体部分との接触によりケーブル類の外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。
❗	**車体に穴を開けてケーブル類を配線するときは、絶縁性の保護チューブまたはグロメットなどを使用する。** 開口部との接触により外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。
❗	**車体に穴を開けて機器の取り付けあるいはケーブル類の配線をするときは、開けた穴との隙間をシリコン接着剤などで充填する。** 排気ガスやほこり・水などが隙間から室内に侵入し、事故などの原因となることがあります。
❗	**モニターの角度調整は、モニターブラケットの角度調整ねじを回してゆるめてから行う。** 無理にモニターの角度を調整するとモニターやモニターブラケットが破損する可能性があります。
❗	**モニターブラケット(安全機構付き)に必要以上の衝撃や負荷を掛けない。** 安全のため、必要以上の衝撃や負荷が掛かるとネジ固定部が外れるようになっています。ネジ固定部が外れた場合は、元の状態に戻すことができなくなります。
❗	**モニターブラケット(安全機構付き)は定期的に点検する。** ネジ固定部にガタツキや緩みが生じていないか定期的に点検してください。
❗	**電源は「ACC」連動電源に接続する。** 電源フィルターの回路にコンデンサーが使用されており、「ACC」OFF後このコンデンサーから短時間電源が供給されますので「ACC」連動電源に接続された電装機器がOFFするまで多少遅延することがあります。 ※遅延時間は接続された電装機器の消費電力で異なります。 　例えば、純正ラジオのみを接続されているときは2秒程度遅れてラジオの電源が切れます。
❗	本製品は保安部品(一部製品を除く)です。 必ず本取扱説明書の取り付け条件を遵守して、実際のモニター映像や作動等が保安基準を満足していることを確認してください。遵守されない場合、保安基準に適合しない恐れがあります。
❗	2024年5月以降に登録された車両の場合、バックギア入力時に後方画面がモニターに映らない場合は、車両の運転はできません。その際はお買上げの販売店にお問い合わせください。

1. 製品構成

標準キット

万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

部品名称・型式	個数
7型カラーモニター　VH-M20	1
カラーカメラ(広角) VH-C20W	1
カメラ用日除けカバー	1
カメラ用取り付けステー	1
カメラ用取り付け金具取り付けボルト　(M5×16mm)	2
カメラ用取り付け金具取り付けナット　(M5)	2
カメラ取り付け用ボルト　(M4×8mm)	4
モニター用グロメット	1
カメラ用グロメット	1
自己融着テープ	2
コネクターカバー	1
カメラ接続用ハーネス(単車用 10、15、20、23mより選択)	1
電源ケーブル	1
モニターブラケット(車種により設定あり)	1
取扱説明書	1
保証書(本裏表紙に記載)	1

・仕様を指定･変更してお買い上げいただいた場合には、上記キットとは構成内容が異なりますのでご注意ください。

オプションパーツ

あらかじめ、仕様を指定してお買い上げいただいた場合には、下記の部品などが追加されています。
ご不明な点がありましたらお買い求めの販売店にお問い合わせください。

・カメラ
シャッター付きカメラ(広角)　VH-SC20W
小型カメラ　CCN-115-05

・カメラ接続用ハーネス
単車用防水ワイヤーハーネス
･10m：WCC-110
･15m：WCC-115
･20m：WCC-120
･23m：WCC-123
単車用防水延長ワイヤーハーネス 5m：WCC-705
トラクター用防水カプラ付ワイヤーハーネス 15m：70215RS
トレーラー用防水カプラ付ワイヤーハーネス 20m：70320R
トレーラー用防水カプラ付ワイヤーハーネス 5m：70305R
トレーラー用カメラ変換ケーブル 5.5m：VH-TRH550
トレーラー用カメラ変換ケーブル 15cm：VH-TRH15

・カメラプロテクター (広角カメラ用)

・モニター取り付け金具
各種取り揃えてあります

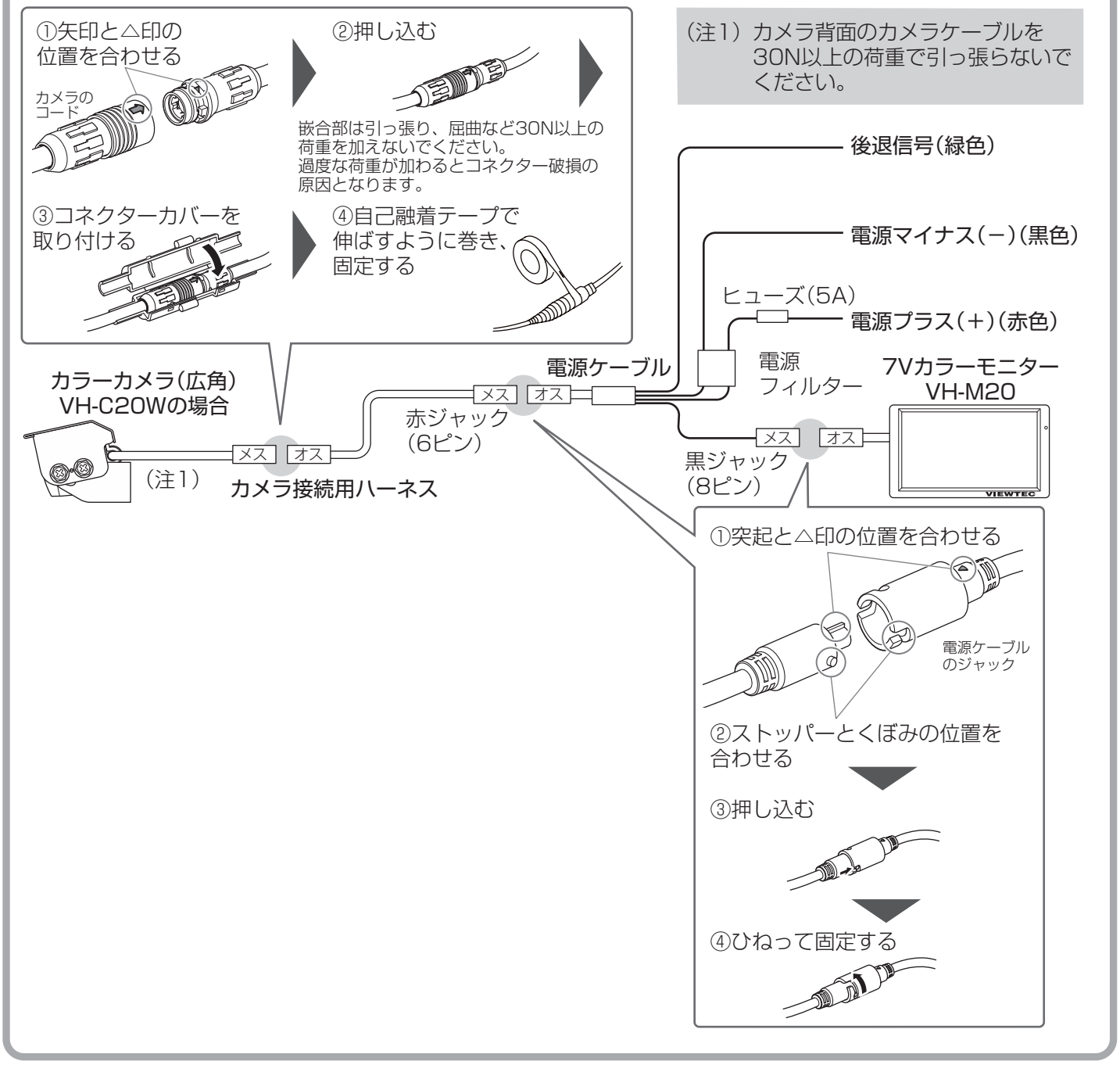
・カメラ取り付け金具
車両形状に合わせた取り付け金具をご用意しております。
お気軽に販売店までお問い合わせください。

・拡張用パーツ
VH-H30B 4ch分割コントローラ/VH-S20 コントロールボックス
（装着は2024年4月までに登録した車両に限ります）
増設用カメラ変換ケーブル：VH-IC15
映像分析ケーブル：VH-300RCA-B001

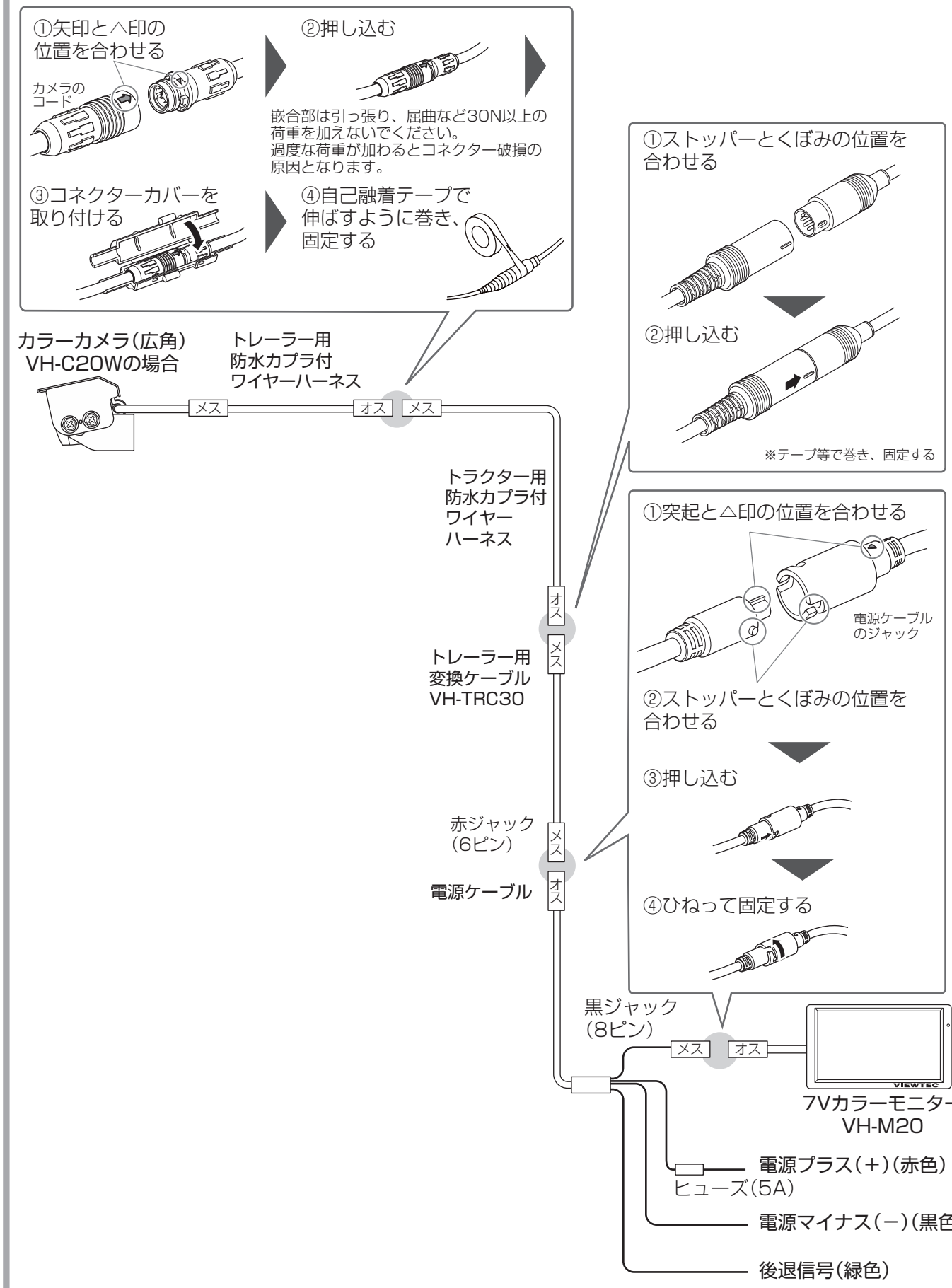
2. 接続

結線図

トラクター・トレーラー以外の場合



トラクター・トレーラーの場合



注意事項

・接続するときは、ピンを折ったり、曲げたりしないようにご注意ください。
・電源ケーブルは次のように配線してください。(電源は、12V/24V共用です)

赤色ハーネス	電源プラス(+)用 • 車のキーを「LOCK」か「OFF」にすると電源供給が切れ、「ACC」にすると電源が入ります。電源ラインで「1A」以上の電源が取れる所に接続してください。
黒色ハーネス	電源マイナス(−)用 • 車体の金属部分に確実にアースしてください。
緑色ハーネス	後退信号入力用 シフトレバーを後退に位置にしたときに連動して出力される電源プラス(+)ライン(バックランプ用電源ラインなど)に接続します。 後退信号ラインに電源プラス(+)信号が入力されると強制的に後方カメラ映像が表示されます。

ヒューズ

赤色ハーネスのヒューズが切れたときは、配線などを調べて必ず原因を確かめ、適切な処理をしてください。その後、切れたヒューズをヒューズケースに記してある規定容量(5A)のヒューズと交換してください。

・**規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険ですのでおやめください。**

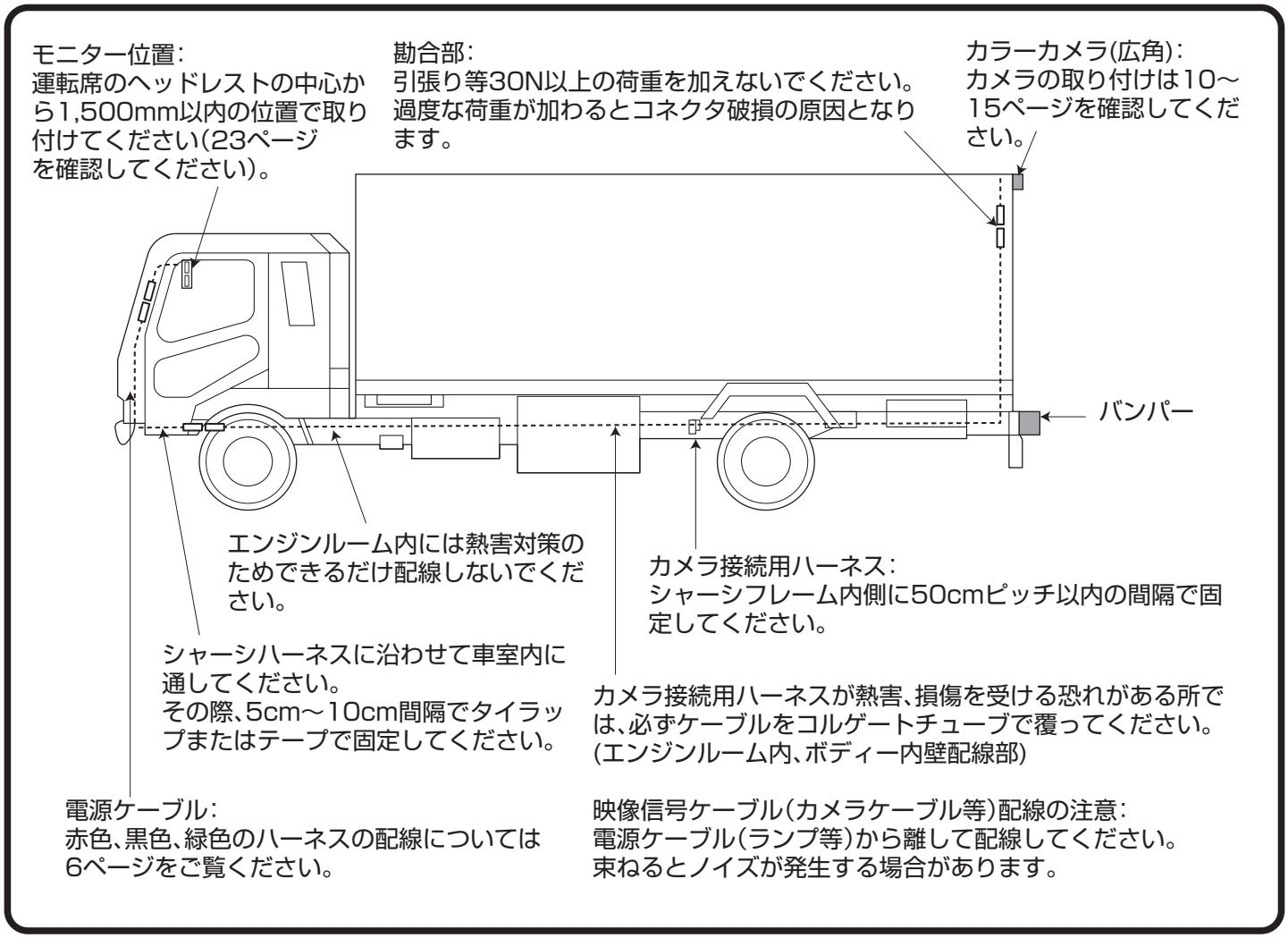
3. 車両への取り付け

本機の取り付け･配線工事は専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
保安基準第44条の2『後退時車両直後確認装置』における要件を満たす必要があります。カメラの設置可能範囲や設置角度、モニターの設置位置などは本項の内容を確認してください。

取り付けの要領

- モニターブラケットは、各種車両用をご用意しております。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- カラーカメラ(広角)を車両後部上端に取り付け(10ページをご覧ください)、カメラ接続用ハーネスと接続します。カメラ接続用ハーネスのもう一端を電源ケーブルの赤ジャックと接続します。
- ルームミラーを外してモニターを取り付け(16ページをご覧ください)、モニターのコードを電源ケーブルの黒ジャックと接続します。
- 電源ケーブルのハーネスを車両の電源に接続します。(6ページをご覧ください)

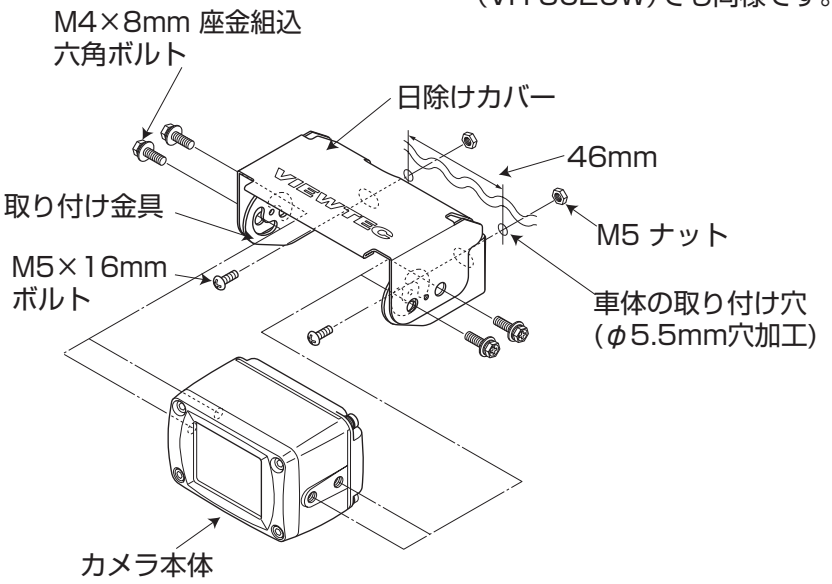
- モニターは、運転席のヘッドレストの中心から1,500mm以内の位置で取り付けてください。
- モニターの取り付けにあたっては、車内の乗員がモニター本体に触れたり、ぶつかっても怪我をしないよう、また運転の妨げにならないように安全･確実にお取り付けください。
- モニターの近くにAMラジオのアンテナがあるとAMラジオにノイズが発生することがあります。
- モニター、モニター取り付け金具は車体に合わせ、適宜取り付けてください。
  なお、モニター取り付け金具は一部車両には対応しておりません。詳しくは販売店にお問い合わせください。



カラーカメラの取り付け

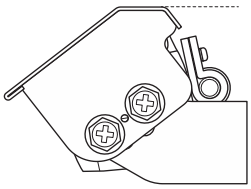
カラーカメラ(VH-C20W)の場合

※シャッター付きカメラ
(VH-SC20W)でも同様です。



カメラ本体
※上下向きに注意してください(ステッカー貼付面が下面です)

垂直面取り付け例
推奨45°(垂直面から下向き)



※その他のカメラについては、カメラ付属の取扱説明書をご参照ください。

VH-C20W/VH-SC20W

カラーカメラ取り付け角度(垂直面下向き)の調整範囲：45～54度　(45度推奨)

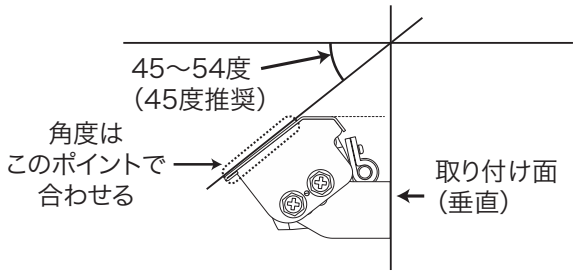
- カメラ設置角度は45～54度で設置してください。
- カメラ設置面は地面に対し垂直、そして平面に設置してください。
- 車幅2,500mm以下の車両に取り付けてください(公道を走行する車両のみ)。

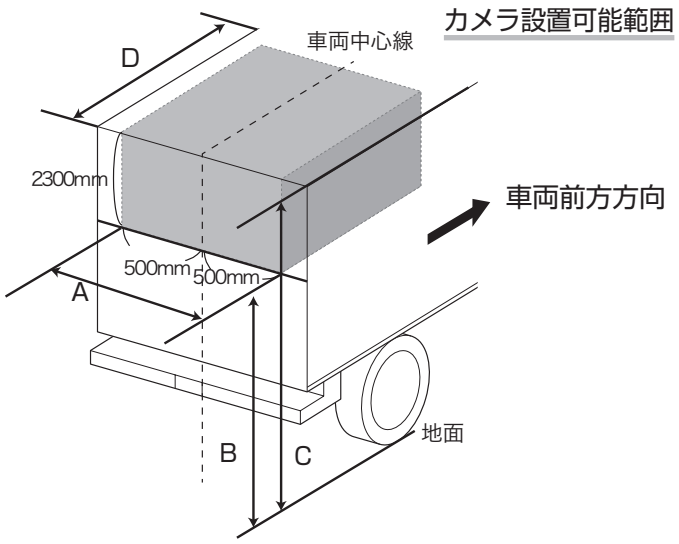
⚠	カメラの取り付け角度(上下角度)は、下記図の角度測定のポイントを校正済の角度計などで確実に測定してください
	カメラ取り付け範囲はカメラレンズ先端の中心が基準となります
	本項目の内容は二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラおよびそりを有する軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車、被牽引自動車並びに後退時車両直後確認装置を備えることができないものとして告示で定める自動車を除きます
	カメラ取り付け角度と設置可能範囲を守ってください
	取り付け金具は必ず2本のボルトで確実に締め付ける

カラーカメラ(広角)の取り付け角度と取り付け範囲

A 車幅シフト範囲 (車両中心から)	±500mm
B 最低の高さ	1,800mm
C 最高の高さ	4,100mm
D 車両後端からの内側距離	VH-C20W： +44～-2000mm VH-SC20W: +50～-2000mm

カメラの設置角度は以下の通りに設定してください





CCN-115-05

カラーカメラ取り付け角度(垂直面下向き)の調整範囲：38～47度　(45度推奨)

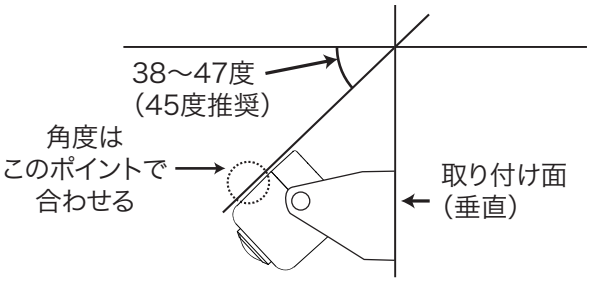
- カメラ設置角度は38～47度で設置してください。
- カメラ設置面は地面に対し垂直、そして平面に設置してください。
- 車幅2,500mm以下の車両に取り付けてください(公道を走行する車両のみ)。

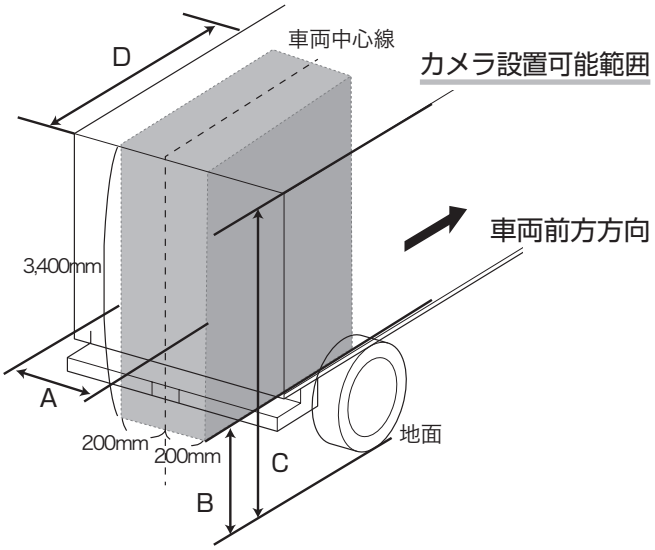
⚠	カメラの取り付け角度(上下角度)は、下記図の角度測定のポイントを校正済の角度計などで確実に測定してください
	カメラ取り付け範囲はカメラレンズ先端の中心が基準となります
	本項目の内容は二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラおよびそりを有する軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車、被牽引自動車並びに後退時車両直後確認装置を備えることができないものとして告示で定める自動車を除きます
	カメラ取り付け角度と設置可能範囲を守ってください
	取り付け金具は必ず2本のボルトで確実に締め付ける

カラーカメラ(広角)の取り付け角度と取り付け範囲

A 車幅シフト範囲 (車両中心から)	±200mm
B 最低の高さ	700mm
C 最高の高さ	4,100mm
D 車両後端からの内側距離	-2,000～46mm

カメラの設置角度は以下の通りに設定してください

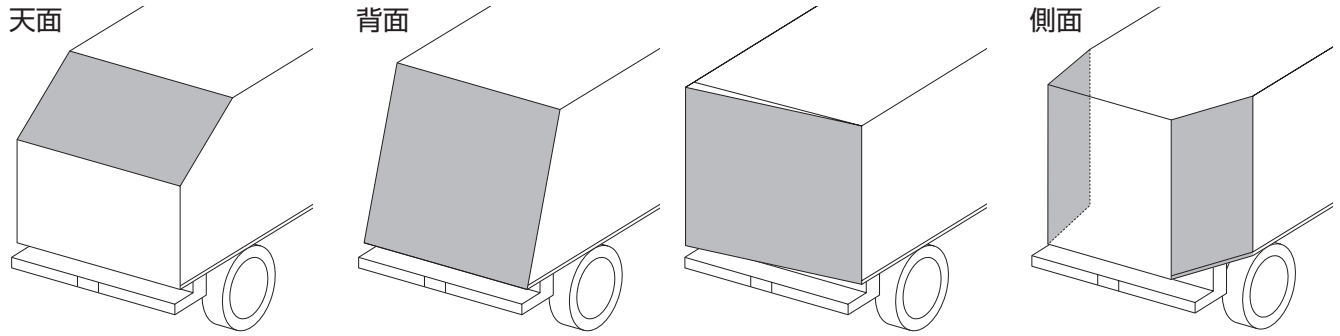




<重要>
上記ポイントで測定した角度から
1.5度を足した数値が取付上下角度となります

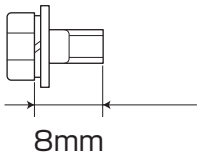
カメラ設置面のご注意

後方カメラの設置面は地面に対し垂直、そして平面に設置してください。
下図のグレー部分のような傾斜面で、側面が傾斜している箇所には設置しないでください。



カラーカメラ(VH-C20W/VH-SC20W)取り付け時のご注意

・カメラ本体の取り付け用ボルトは、必ず付属のステンレス製M4×8mmボルト(平ワッシャーとスプリングワッシャー組み込み)を使用してください。取り付け時にボルトを紛失した場合も、必ずステンレス製M4×8mmボルトを使用してください。**ねじ長さ8mm以上のボルトは絶対に使用しないでください。**



防水性を確保するためにカメラケースのねじ穴部は袋構造になっています。長いボルトを無理に使用するとねじ山およびカメラケースが破損し、防水性が保てなくなります。

・カメラを取り付けるときにカメラ背面のカメラケーブルを30N以上の荷重で引っ張らないでください。
・カメラは揺れ防止のため強度の確保できる位置に取り付けてください。また、取り付け強度がとれない場合は、適切な補強を施してください。

「とい」などの張り出し部に取り付けをするときは(板厚が薄いなど取り付け部強度がない場合)、必ず補強金具などで取り付け部の強度を確保してください。

・カメラ本体のボルトやねじをゆるめたり、分解しないでください。防水性能の低下・劣化により故障発生の原因となります。
・リヤバンパーやステップ部など低い位置への取り付けは死角が発生しやすいので十分注意してください。

カメラのレンズ部が泥はね、排気ガスなどの汚れを受けやすい位置への取り付けは避けてください。

・カメラ取り付け金具を取り付けた後、ねじ穴、ねじおよびケーブル通し穴は、必ずシリコン接着剤などを充填し、防水処理をしてください。
・カメラ本体をケーブルで吊り下げたり、ケーブルを引っ張らないでください。
防水性能が低下したり、ケーブルが断線するなど、故障の原因となります。
・本機およびカメラ接続用ハーネスはアンテナなどから60cm以上離してご使用ください。
本機およびカメラ接続用ハーネスの近くに無線機、無線機用アンテナ、ラジオ用アンテナなどがあるとモニターの画像または音声が乱れる場合があります。

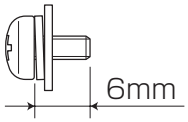
シャッター付きカメラ(VH-SC20W)取り付け時のご注意

・シャッター付きカメラ設置時は、車両構造物にカメラカバーなどが接触しないようにして取付けをお願いします。
・カメラ周囲(上下、左右)は5mm以上離すことをお薦めします。

シャッター部に、車両構造物の接触、雪や氷などが付着すると、シャッターが固着し正常に開閉しない場合があります。シャッターが閉じた状態でモニターが作動した場合、画面は全体的に暗く、画面周辺が白く映ります。
シャッター部が固着する原因がなくなっても、シャッターが開閉しない場合や、シャッター開閉動作が2秒以上かかる場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

小型CMOSカメラ(CCN-115-05)取り付け時のご注意

・カメラ固定ネジは、必ずあらかじめ取り付けられているM3×6mm座金組込ネジを使用してください。取り付け時にネジを紛失した場合は、必ずステンレス製M3×6mm座金組込ネジを使用してください。長さ5mmを超えるネジは絶対に使用しないでください。



防水性を確保するためにカメラケースのネジ穴部は袋構造になっています。長いボルトを無理に使用するとネジ山およびカメラケースが破損し、防水性が保てなくなります。

・カメラは揺れ防止のため強度の確保できる位置に取り付けてください。また、取り付け強度がとれない場合は、適切な補強を施してください。

「とい」などの張り出し部に取り付けをするときは(板厚が薄いなど取り付け部強度がない場合)、必ず補強金具などで取り付け部の強度を確保してください。

・カメラ本体のボルトやネジをゆるめたり、分解しないでください。防水性能の低下・劣化により故障発生の原因となります。
・リヤバンパーやステップ部など低い位置への取り付けは死角が発生しやすいので十分注意してください。

カメラのレンズ部が泥はね、排気ガスなどの汚れを受けやすい位置への取り付けは避けてください。

・取付金具を車体に取り付けた後、ネジ穴、ネジおよびケーブル通し穴は、必ずシーラントなどを充填し、防水処理をしてください。
・カメラ本体をケーブルで吊り下げたり、ケーブルを引っ張らないでください。防水性能が低下したり、ケーブルが断線するなど、故障の原因となります。
・本機およびカメラケーブルはアンテナなどから60cm以上離してご使用ください。本機およびカメラケーブルの近くに無線機、無線機用アンテナ、ラジオ用アンテナなどがあるとモニターの画像または音声が乱れる場合があります。

カラーカメラ取り扱い時のご注意

- レンズはガラス製です。強い衝撃をあたえると割れて怪我の原因となることがあります。
- お手入れについては、以下の点にご注意ください。
  — レンズについた埃やゴミ、指紋などは柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませて拭き取ってください。
  — ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- 異常な低温または高温になると映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。
- 雨天時、水滴により映像が見にくい場合は、市販の撥水処理剤をガラス面に塗布してご使用ください。
  水滴、汚れなどが付着しにくくなります。
- 取り付け作業完了後、システムの作動を十分に確認してからご使用ください。
- シャッターカメラの開閉部(開閉動作中含む)に衝撃や負荷を掛けないでください。故障の原因となります。
- シャッターカメラの開閉部を手で動かしたり、無理に開閉させたりした場合は、シャッターが完全に閉まりきらない等の状況になることがあります。
  その場合は、何度かモニターの**BACK SETスイッチ**のONとOFFを繰り返してください。元の状態に戻ります。
- シャッターカメラに氷や雪が付着している場合は、無理に動かさず、溶けた後にご使用ください。

カラーカメラ接続時のご注意

- カメラ接続用ハーネスは傷つかないように車室内を通してください。やむをえず車外に配線する場合は、木の枝などに引っ掛けたり、ケーブルがばたつくのを防止するため、クランプなどで確実に車体に固定し板金カバーで保護してください。また、コネクター部は確実に接続し、水のかかりにくいところに設置してください。
- 各ケーブルの配線は、エンジン･排気管･トランスミッションなどの高温部、クーリングファン、オルタネーターなどの回転部および雑音発生源からできるだけ離してコルゲートチューブで被覆し、クランプなどで固定してください。
- 各ケーブルは、同軸線を内蔵した特殊ケーブルですので切断しないでください。
- 焼付塗装する車両は、必ず塗装後に配線を行ってください。
- ケーブルが損傷を受けやすい通し穴の金属部や板金の切断面などには、保護チューブまたはグロメットなどでケーブルを保護してください。また、ケーブルに強いねじりや曲げを加えると内部ショートの原因となりますので無理な配線は避けてください。外被に傷がつくと防水性が損なわれますので十分に注意してください。

防水コネクターを接続するときのご注意

防水コネクターは樹脂製です。締め付けには十分に注意して確実に固定してください。コネクターが破損したり締め付けが不十分な場合は、防水性の低下により水が浸入します。
接続の際は、各コネクターの締め付け部を合わせ、プッシュロックの固定、もしくはナットの締め込みを確実に行ってください。また、付属の自己融着テープで固定を行ってください。

モニターの取り付け

ルームミラー、ルームランプを取り外してモニターブラケットを取り付け、モニターブラケットにモニターを取り付けます。ルームミラー、ルームランプの取り外しかた、モニターブラケットの取り付けかたは、車種によって異なります。

ルームミラー、ルームランプの取り外し

• 三菱ふそう キャンター

ルームミラーを取り外す前に車両の内装を取りはずす

ルームミラー、室内灯、モニターケーブルの配策に関連する内張りなどの車両内装、助手席側のサイドピラーを取り外します。

• 車両のグレードによって内装が異なりますので、ご注意ください。

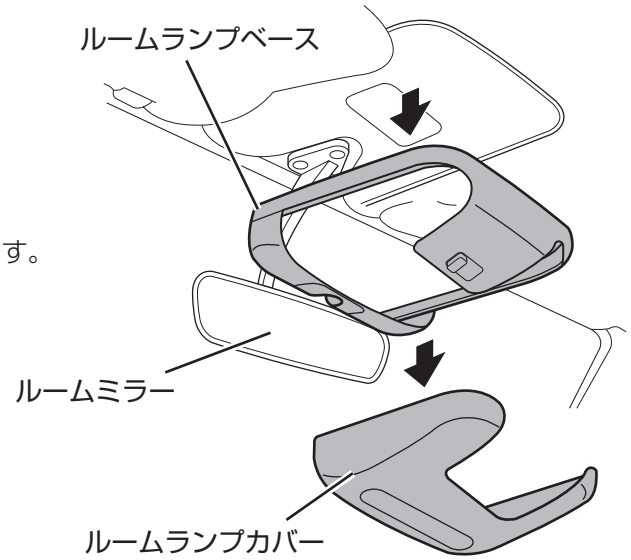
ルームランプ一体ミラー車の場合

1 ルームランプカバーを取り外す

ルームランプカバーのツメ(2カ所)を外します。

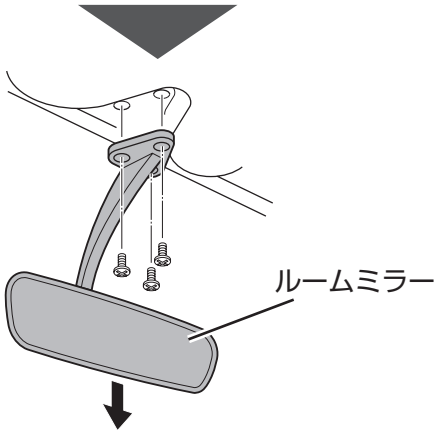
2 ルームランプベースを取り外す

ルームランプベースと、裏面のハーネスコネクタを外します。



3 ルームミラーを取り外す

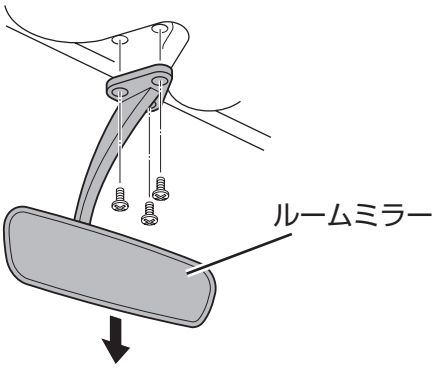
ネジ(3本)を外します。



ルームランプなし車の場合

1 ルームミラーを取り外す

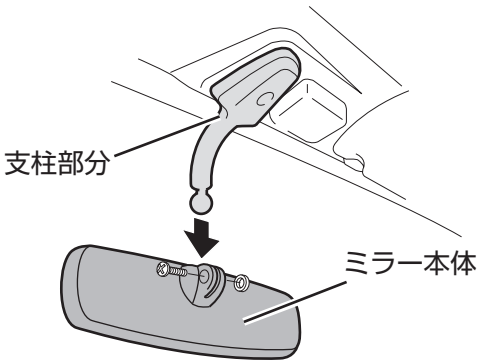
ネジ(3本)を外します。



• 日産 アトラス　• 日野自動車 デュトロ　• トヨタ ダイナ　• トヨタ トヨエース　• いすゞ エルフ(2007年9月前、ミラー付き)

ルームミラーを取り外す前に車両の内装を取りはずす
ルームミラー、室内灯、モニターケーブルの配策に関連する内張りなどの車両内装、助手席側のサイドピラーを取り外します。
• 車両のグレードによって内装が異なりますのでご注意ください。

例:日産 アトラス

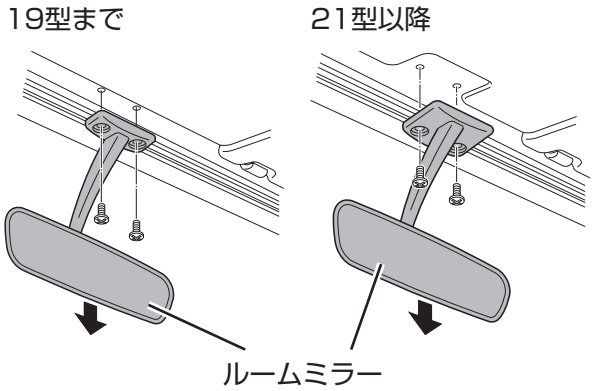


1　ルームミラーを取りはずす
ミラー本体のみを外します。
• ミラーの接合部をマイナスドライバーなどで広げて取り外します。
• ルームミラーの支柱部分には、モニターホールドを取り付けます。モニターブラケットを取り付ける必要はありません。

• 三菱ふそう ファイター　初年度登録2005年以降、製造年月日2021年2月15日以前まで

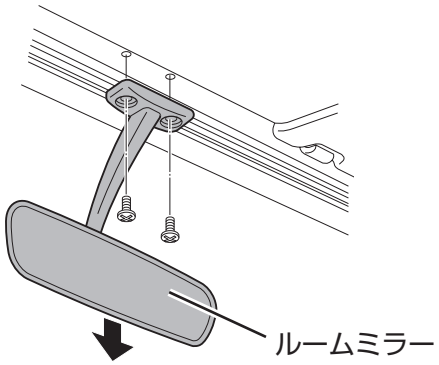
ルームミラーを取り外す前に車両の内装を取りはずす
ルームミラー、室内灯、モニターケーブルの配策に関連する内張りなどの内装、助手席側のサイドピラーを取り外します。
• ルームミラーを装着していない車種もこの作業を行ってください。
• 車両のグレードによって内装が異なりますのでご注意ください。

1　ルームミラーを取りはずす
ネジ(2本)を外します。



• 三菱ふそう スーパーグレート　• 日野 レンジャー・プロフィア　• UDトラックス クオン・コンドル〈中型〉
• いすゞ フォワード・ギガ・エルフ現行型2007年9月現在(一部車種を除く)

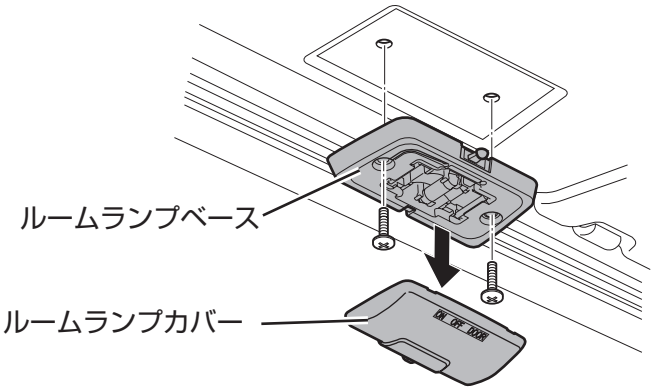
1　ルームミラーを取りはずす
ネジ(2本)を外します。



• いすゞ エルフ　• UDトラックス コンドル(一部型式をのぞく)

1　ルームランプカバーを取りはずす

2　ルームランプベースを取りはずす



モニターブラケットの取り付け

日産 アトラス、日野自動車 デュトロ、トヨタ ダイナ、トヨタ トヨエースの場合は、モニターブラケットを取り付ける必要はありません。

安全機構付きモニターブラケットをご使用の際のご注意

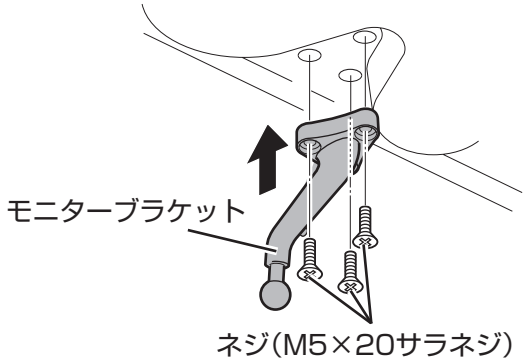
- モニターの角度調整は、モニターブラケットの角度調整ねじを回してゆるめてから行ってください。
  無理にモニターの角度を調整するとモニターやモニターブラケットが破損する可能性があります。
- モニターブラケット(安全機構付き)に必要以上の衝撃や負荷を掛けないでください。
  安全のため、必要以上の衝撃や負荷が掛かるとネジ固定部が外れるようになっています。ネジ固定部が外れた場合は、元の状態に戻すことができなくなります。
- モニターブラケット(安全機構付き)は定期的に点検してください。
  ネジ固定部にガタツキや緩みが生じていないか定期的に点検してください。

• 三菱ふそう キャンター　• UDトラックス カゼット

1 モニターブラケットを取り付ける

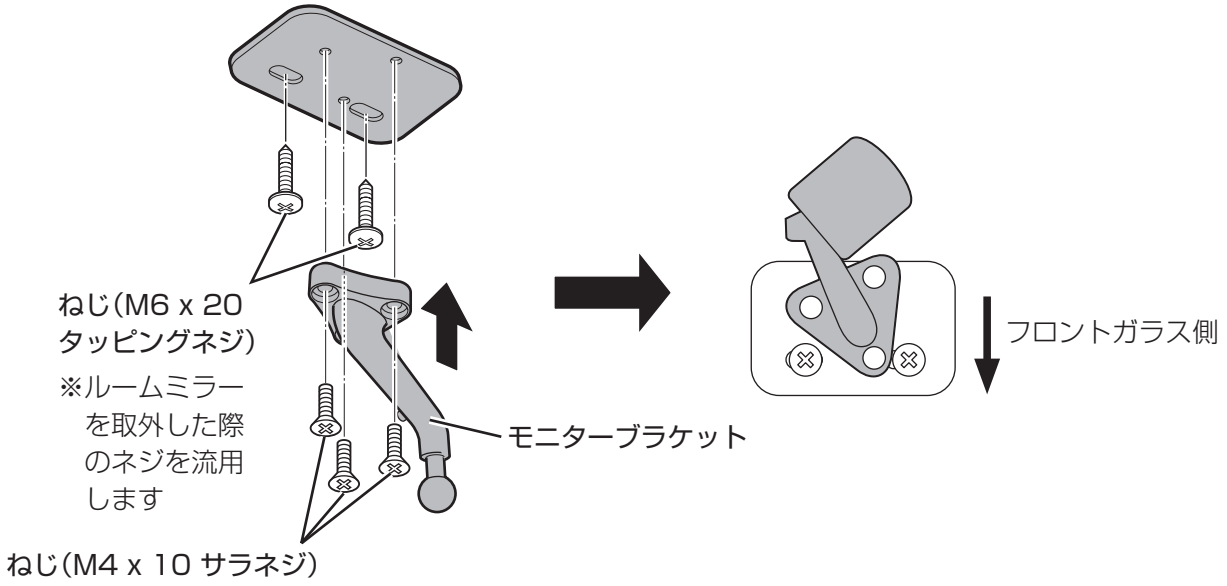
モニターブラケットに添付されたネジ(M5X20サラネジ)を使い、モニターブラケットを取り外したルームミラーのネジ位置に合わせて固定します。

- ルームランプ一体ミラー車の場合は、モニターブラケットを取り付けた後、ルームランプベース、ルームランプカバーを取り付けます。



• 三菱ふそう ファイター (製造年月日2021年2月16日以降)

下図にしたがってミラーステーに固定してください。



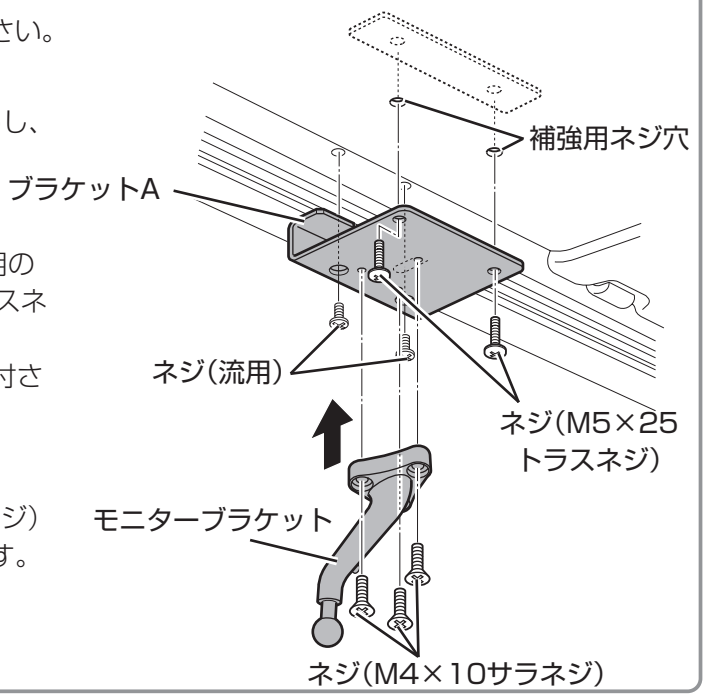
• 三菱ふそう ファイター　＜19型まで＞　　初年度登録2005年以降、製造年月日2021年2月15日以前まで

※21型以降はブラケット本体付属の取扱説明書をご覧ください。

1　ブラケットA取り付け用のネジ穴を開ける
取り外したルームミラーの位置にブラケットAを仮止めし、補強用のネジ穴（φ6）を開けます。

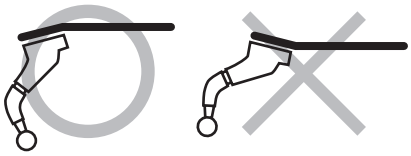
2　ブラケットAを取り付ける
取り外したルームミラーのネジの位置にルームミラー用のネジ（流用）とブラケットAに添付のネジ（M5×25トラスネジ）を使って固定します。
• ブラケットAの添付ネジ（M5×25トラスネジ）は、添付されたM5フランジ付ナットで固定します。

3　モニターブラケットを取り付ける
モニターブラケットに添付されたネジ（M4×10サラネジ）を使い、モニターブラケットをブラケットAに固定します。

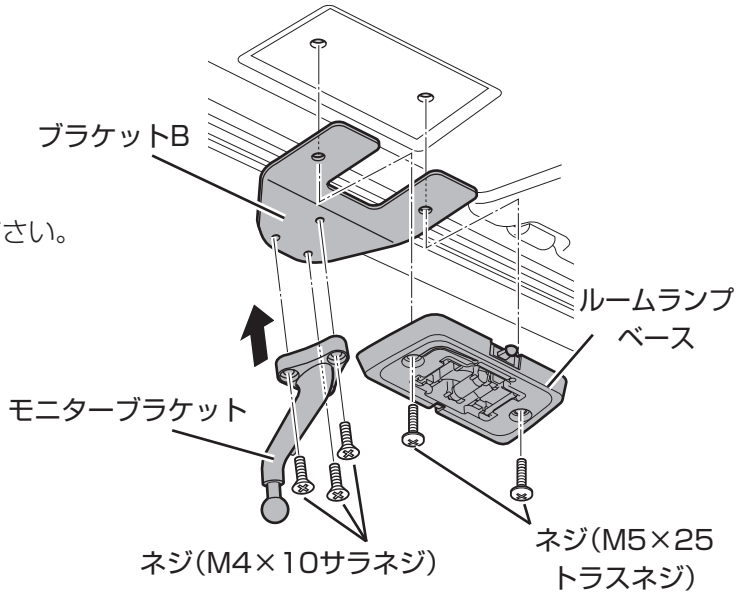


• いすゞ エルフ（一部型式をのぞく）　• UDトラックス コンドル〈小型〉（一部型式をのぞく）

1　ブラケットBを取り付ける
取り外したルームランプベースのネジの位置にブラケットBを図のように合わせ、ルームランプベースとブラケットBをブラケットBに添付されたネジ（M5×25トラスネジ）を使って固定します。
• ブラケットBの向きは、下図（左）のようにしてください。



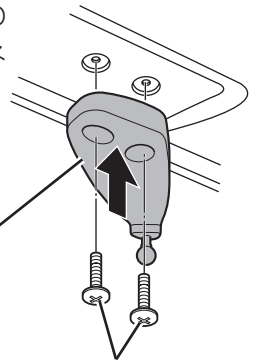
2　モニターブラケットを取り付ける
ブラケットBにモニターブラケットに添付されたネジ（M4×10サラネジ）を使って固定します。



• いすゞ ギガ(旧)

1 モニターブラケットを取り付ける

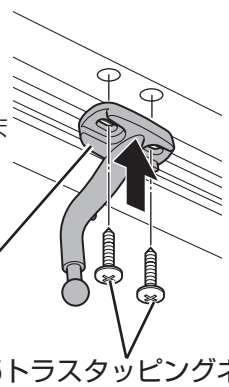
取り外したルームミラーのネジの位置に添付されたネジ(M6×20トラスネジ)を使って固定します。



• UDトラックス クオン・コンドル〈中型〉

1 モニターブラケットを取り付ける

取り外したルームミラーのネジの位置に添付されたネジ(M5×25トラスタッピングネジ)を使って固定します。



• 三菱ふそう スーパーグレート　• 日野 レンジャー・プロフィア　• 日産ディーゼル コンドル

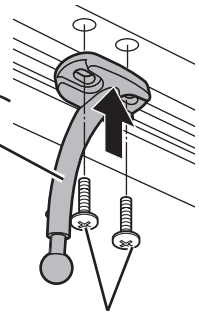
1 モニターブラケットを取り付ける

取り外したルームミラーのネジの位置に添付されたネジを使って固定します。

• 車種によって使用するネジが異なります。

名称	個数	適用車種
M6×20 トラスネジ	2	- 日野　　レンジャー・プロフィア - 三菱ふそう スーパーグレート
M5×25 トラスタッピング	2	- 日産ディーゼル　コンドル

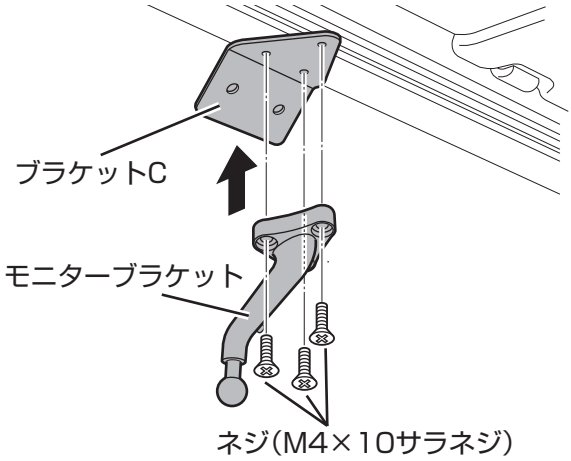
• お客様の車種が上記に該当しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

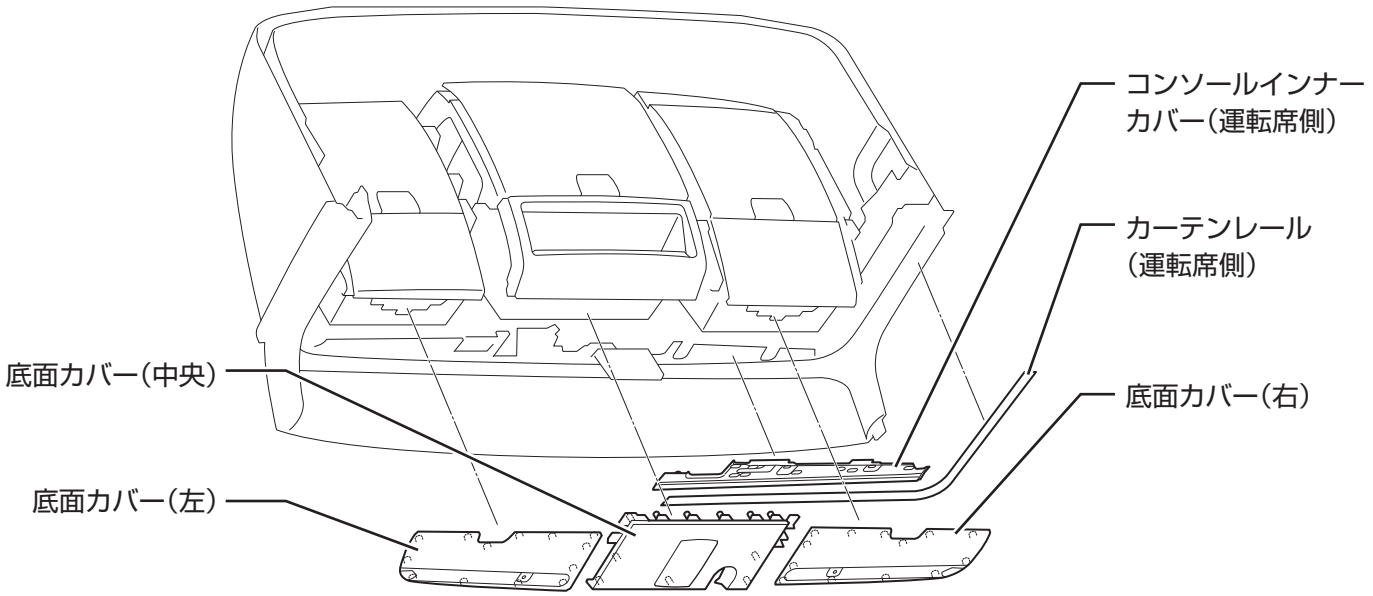


• いすゞ ギガ・フォワード・エルフ現行型2007年9月～(エルフ一部車種を除く)

1 モニターブラケットを取り付ける

ブラケットCは取り外したルームミラーのネジ位置に添付されたネジ(M６×２０トラスネジ)で固定してから、モニターブラケットを添付されたネジ(M４×１０サラネジ)で取り付けます。車種によりモニターブラケットでプレートを挟み込んでから添付されたネジ(M6×２０トラスネジ)を使って固定します。



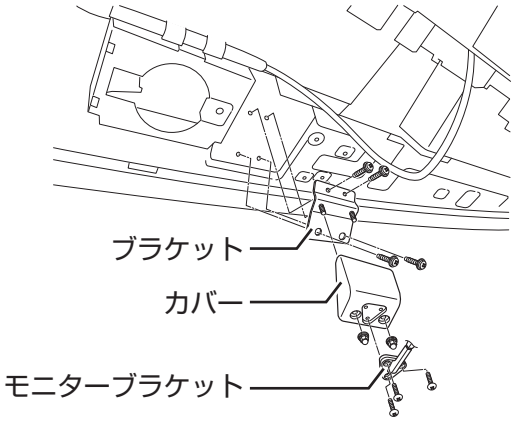


1 内装を取りはずす

1 底面カバー(左･中央･右)を取り外します。
底面カバー(左･右)は13か所、底面カバー(中央)は11か所のボスの圧入で固定されています。
2 カーテンレール(運転席側)を取り外します。
5か所でネジ止めされています。
3 コンソールインナーカバー(運転席側)を取り外します。
ネジ止め2か所と両サイドはクリップとツメで固定されています。

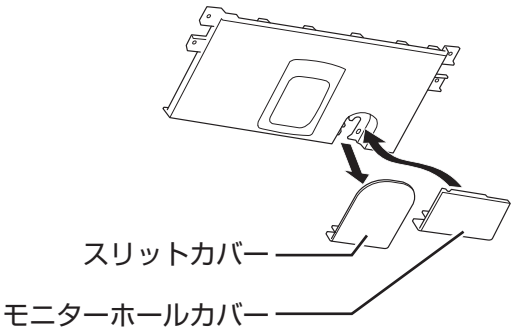
2 モニターブラケットを取り付ける

1 ネジ(M6x20トラスネジ)4か所で車体にブラケットを取り付けます。
2 袋ナット2か所でブラケットにカバーを取り付けます。
3 ネジ(M4x10サラネジ)3か所でカバーにモニターブラケットを取り付けます。



3 外した内装を取り付ける

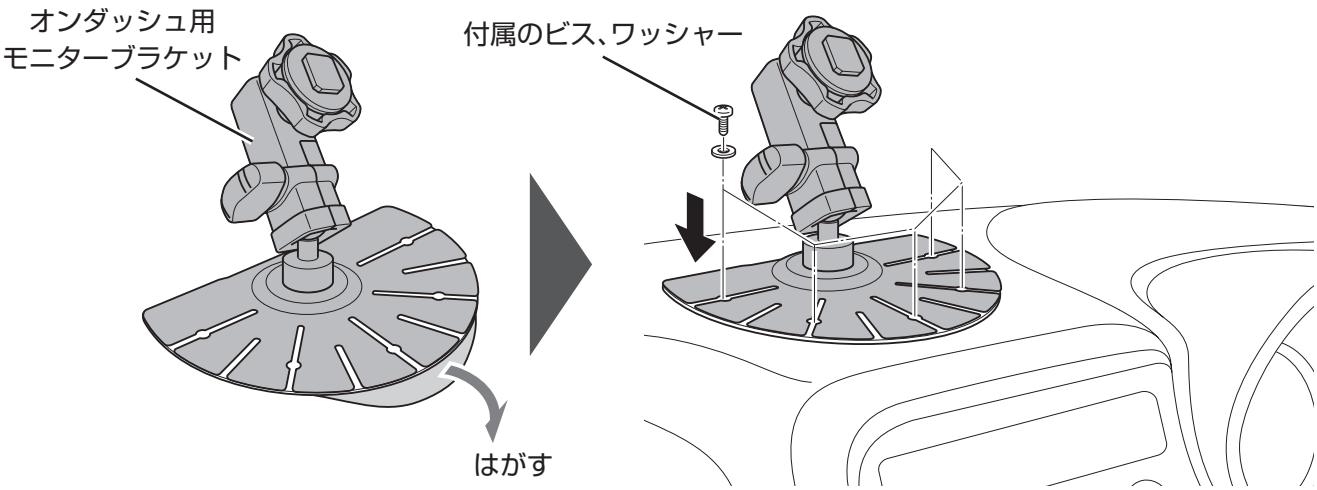
1とは逆の手順で外した部品を元の状態に取り付けます。
この時、底面カバー(中央)のスリットカバーは取り外して、モニターブラケットを通します。
その後モニターホールカバーを取り付けます。



オンダッシュ用モニターブラケットの取り付け

1 オンダッシュ用モニターブラケットの底面にある台紙を取り、ダッシュボードに取り付ける

オンダッシュ金具を取り付けるときは、ルームミラーを確認する際に妨げにならない位置に取り付けてください。
また、必ず付属のビスで固定してください。

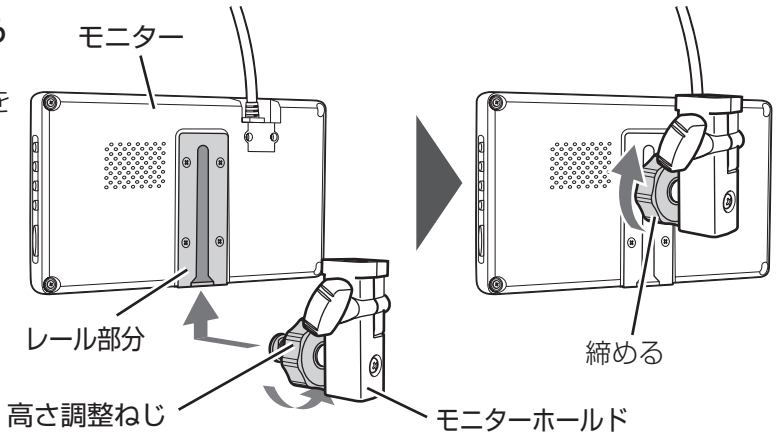


モニターの取り付け

モニターブラケットの場合

1 モニターホールドをモニターに取り付ける

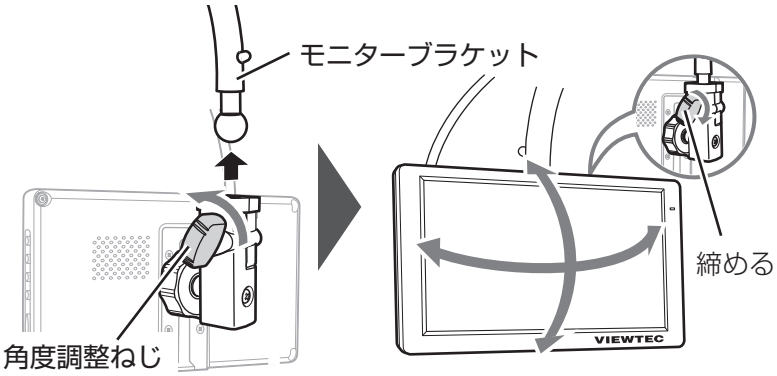
モニターホールドの高さ調整ねじをゆるめ、モニター背面のレール部分にモニターホールドをスライドさせて取り付けます。



2 モニターホールドをモニターブラケットに取り付ける

1 モニターホールドの角度調整ねじをゆるめてモニターブラケットにはめ込みます。
2 モニターの角度を調整します。
- 必要であれば、高さ調整ねじでモニターの高さも調整してください。

3 角度調整ねじを締めて固定します。



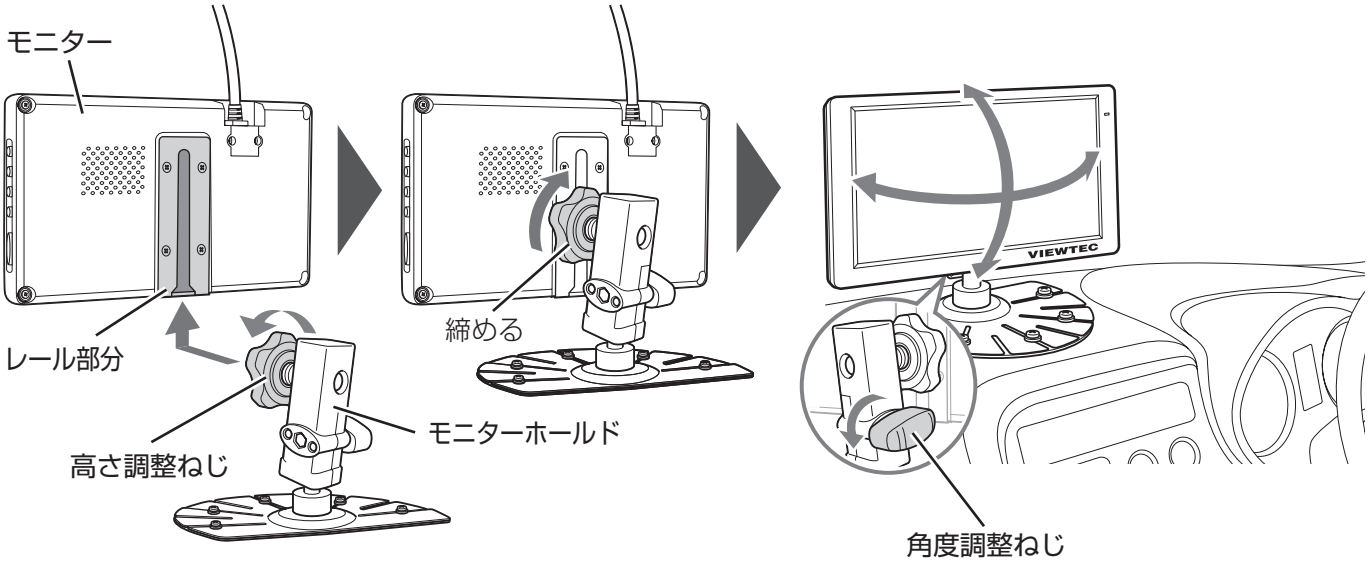
オンダッシュ用モニターブラケットの場合

1 **モニターホールドをモニターに取り付ける**

1 モニターホールドの高さ調整ねじを
ゆるめ、モニター背面のレール部分に
モニターホールドをスライドさせて取り付けます。

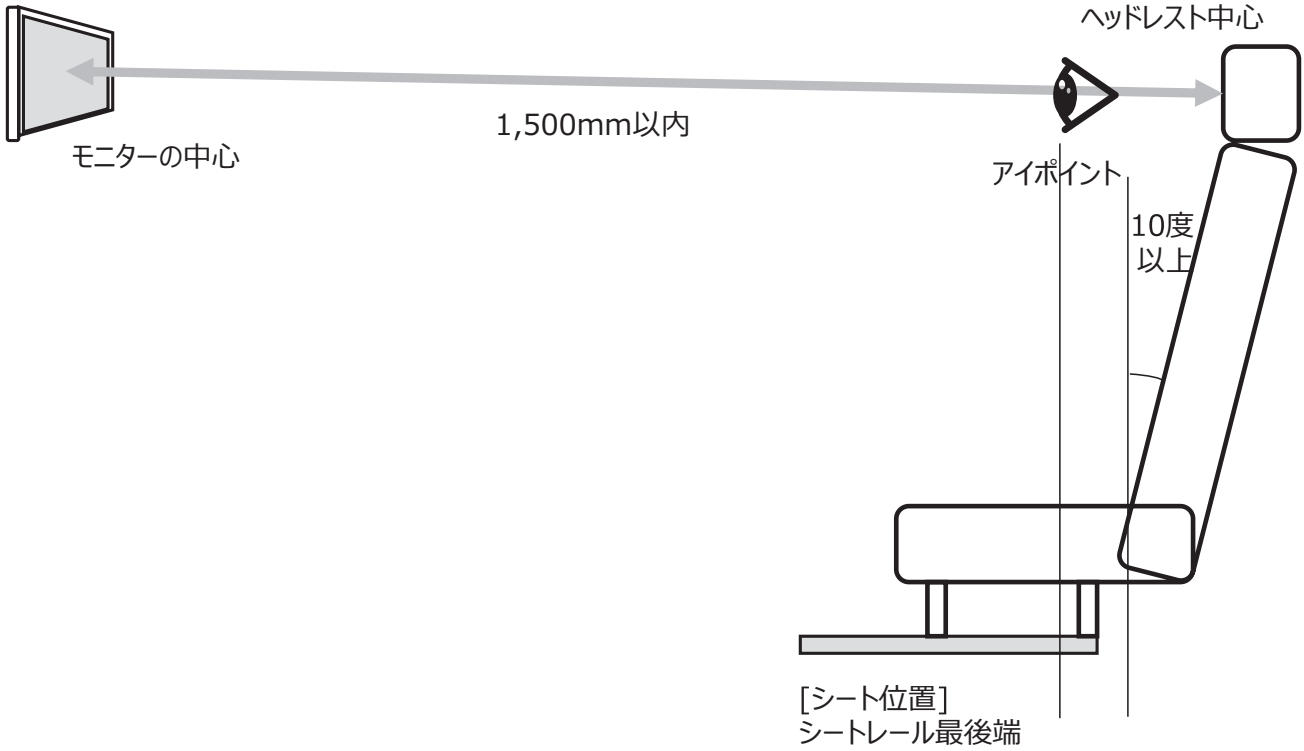
2 モニターの角度を調整します。
- 必要であれば、高さ調整ねじで
モニターの高さも調整してください。

3 角度調整ねじを締めて固定します。



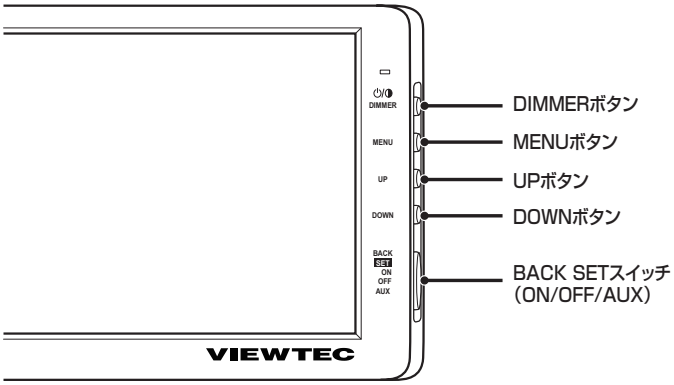
注意事項

モニターの取り付けについて、以下を確認して取り付けてください。
運転席のシート位置をシートレール最後端へ移動し、シートバック角度を10度以上にした時のヘッドレスト中心からモニター中心の距離を1,500mm以内に取り付けてください。



4. モニターの操作

各部の名称



操作のしかた

モニターの明るさを調節する

DIMMERボタンを押すごとにモニターの明るさが変わります。
夜間モード(暗め) ↔ 昼間モード(通常の明るさ)

モニターのスタンバイモードを入/切する

DIMMERボタンを押し続けるとモニターのスタンバイモードを入/切します。
・スタンバイモード"入"の際にシフトレバーを後退位置にするとモニターにカメラ映像が映ります。
※車のキーを「LOCK」または「OFF」にするとリセットされます。
・シャッター付きカメラの場合はスタンバイモード"入"の際にシャッターが閉じ、シフトレバーを後退位置にするとシャッターが開きモニターにカメラ映像が映ります。

車のキー位置とモニターの電源を連動させる

この操作は事故防止のため、必ず車両を安全な場所へ停止した状態で行ってください。

BACK SETスイッチをOFFにすると車のキーをACCまたはONにしたときにモニターの電源が入ります。

シフトレバー(後退位置)とモニターの電源を連動させる

BACK SETスイッチをONにするとシフトレバーを後退位置にしたときにモニターの電源が入ります。
※シャッター付きカメラの場合は、**BACK SETスイッチ**をONにするとシャッターが閉じます。シフトレバーを後退位置にするとシャッターが開きます。

AUXモード

BACK SETスイッチをAUXにすると外部入力映像をモニターに映し出すことができます。
※この機能を使用する場合はコントロールボックス(VH-H20)が必要です。2024年4月までの登録した車両に限ります。
※コントロールボックス(VH-H20)のRCA端子(AUX IN)に外部入力映像信号を入力するとモニターに映ります。
※後退信号を入力すると、後方カメラ映像が映ります。

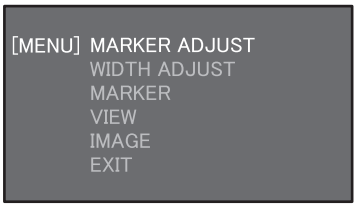
取り扱い時のご注意

モニター画面が青画面となり"NO SIGNAL"と表示されている、車のシフトレバーを後退位置にしてもモニター画面の右上の"CAMERA1"や下部の"車幅マーカー"が消えない、または後方カメラ映像がモニターに映らないなどの場合は、カメラ故障またはケーブル・配線などの損傷や接触不良などが考えられます。その際は販売店または当社までご連絡ください。

モニターの設定をする

メニューを呼び出してモニターの設定をすることができます。

1 **MENUボタン**を押します
メニュー画面が表示されます。



2 **UPボタン**または**DOWNボタン**を押して設定したい項目を選び、**MENUボタン**を押します
設定できる項目には、次のものがあります。

設定できる項目	設定内容
MARKER ADJUST*	シフトレバーを後退位置にしたときに表示されるリフトマーカーの位置を調節します。
WIDTH ADJUST*	車幅マーカーの幅を調節します。
MARKER*	カメラごとにリフトマーカーと車幅マーカーをモニターに表示させるかさせないかを選びます。
VIEW*	モニターに表示される映像の左右を反転させるかさせないかを選びます。
IMAGE	モニターに表示される映像をお好みに応じて調節できます。

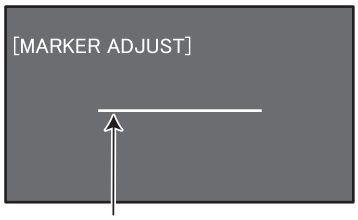
・選んだ項目は、赤色で表示されます。
・**UPボタン**または**DOWNボタン**で<EXIT>を選び、**MENUボタン**を押すと通常の表示に戻ります。10秒間ボタン操作が行われなかった場合も、通常の表示に戻ります。
* **BACK SETスイッチ**がAUXの位置になっているときは選ぶことはできません。

3 選んだ項目で、設定値を調節します

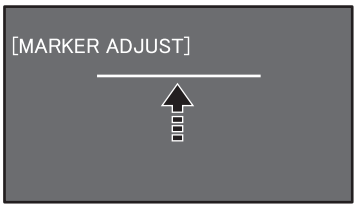
MARKER ADJUSTの設定

シフトレバーを後退位置にしたときに表示されるリフトマーカーの表示位置を調節することができます。

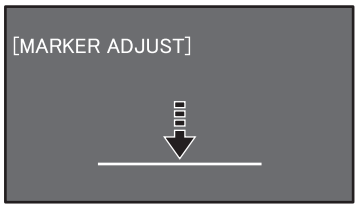
1 リフトマーカーの上下位置を**UPボタン**または**DOWNボタン**で調節します



リフトマーカー



UPボタンでリフトマーカーの位置を上げます。



DOWNボタンでリフトマーカーの位置を下げます。

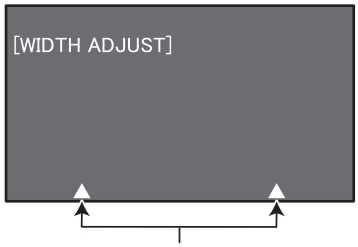
2 **MENUボタン**を押して決定します
メニュー画面に戻ります。

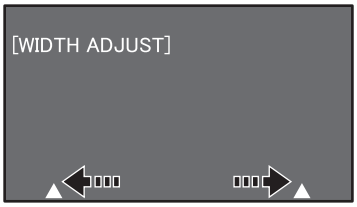
※本機能は2024年4月までに登録した車両に設置されたモニターのみに適用された機能です。2024年5月以降に登録された車両では本機能は機能しません。

WIDTH ADJUSTの設定

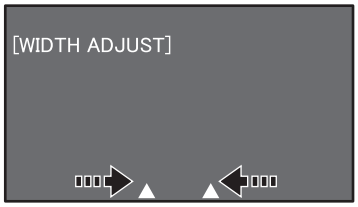
車幅マーカーの幅を調節することができます。

1 車幅マーカーの幅を**UPボタン**または**DOWNボタン**で調節します





UPボタンで車幅マーカーの幅を広げます。



DOWNボタンで車幅マーカーの幅を狭めます。

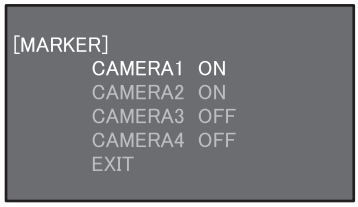
2 **MENUボタン**を押して決定します
メニュー画面に戻ります。

※本機能は2024年5月以降に登録した車両では、バックギアに入れると非表示になります。

MARKERの設定

リフトマーカーと車幅マーカーをモニターに表示させるかさせないかを選びます。接続しているカメラごとに設定できます。

1 **UPボタン**または**DOWNボタン**で設定したいカメラを選び、**MENUボタン**を押します



2 **UPボタン**または**DOWNボタン**で<ON>または<OFF>を選び、**MENUボタン**を押します
・<ON> ：リフトマーカーと車幅マーカーを表示させる
・<OFF>：リフトマーカーと車幅マーカーを表示させない

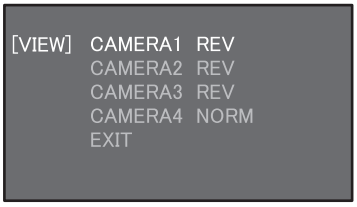
3 必要に応じて手順***1***、***2***を繰り返します

4 **UPボタン**または**DOWNボタン**で<EXIT>を選び、**MENUボタン**を押して終了します
メニュー画面に戻ります。

VIEWの設定

モニターに表示される映像の左右を反転させるかさせないかを選びます。接続しているカメラごとに設定できます。

1 **UPボタン**または**DOWNボタン**で設定したいカメラを選び、**MENUボタン**を押します



2 **UPボタン**または**DOWNボタン**で<NORM>または<REV>を選び、**MENUボタン**を押します
- <NORM> :反転させない
- <REV> :反転させる

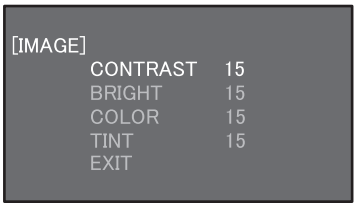
3 必要に応じて手順***1***、***2***を繰り返します

4 **UPボタン**または**DOWNボタン**で<EXIT>を選び、**MENUボタン**を押して終了します
メニュー画面に戻ります。

IMAGEの設定

モニターに表示される映像をお好みに応じて調節できます。設定は接続しているカメラすべて共通になります。

1 **UPボタン**または**DOWNボタン**で設定したい項目を選び、**MENUボタン**を押します



設定できる項目には、次のものがあります。

設定できる項目	設定内容
CONTRAST	映像のコントラストを0～30の間で調節することができます。 (初期設定値:15) ・設定値が大きいほどコントラストが強くなります。
BRIGHT	映像の明るさを0～30の間で調節することができます。 (初期設定値:15) ・設定値が大きいほど明るくなります。
COLOR	映像の色の濃さを0～30の間で調節することができます。 (初期設定値:15) ・設定値が大きいほど色が濃くなります。
TINT	映像の色合いを0～30の間で調節することができます。 (初期設定値:15) ・設定値が大きいほど色合いが強くなります。

2 **UPボタン**または**DOWNボタン**で設定値(0～30)を調節し、**MENUボタン**を押します

3 必要に応じて手順***1***、***2***を繰り返します

4 **UPボタン**または**DOWNボタン**で<EXIT>を選び、**MENUボタン**を押して終了します
メニュー画面に戻ります。

保 証 書

品　　名	ナイスヴューモニター
型　　名	VH-S20
保証期間	対象部品　期間（お買上げの日から） モニター（VH-M20）　2年 カメラ（VH-C20W）　3年 カメラ（VH-SC20W）　3年 カメラ（CCN-115-05）　3年 その他　1年 お買上げ日　令和 西暦　年　月　日
お客様 ご住所	□□□－□□□□
お名前	様
電話	

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に修理をお申し付けください。

販売店	住所・販売店・電話番号

株式会社　日本ヴューテック
〒 211-0041
川崎市中原区下小田中3-26-6
TEL (044) 777-7771

無料修理規定

1. 保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書に従った使用状態）で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理をさせていただきます。
   但し、左記の保証期間の内、1年を超える期間については、部品保証のみとなります。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本保証書もお預かりさせていただきます。お買上げの販売店に製品と保証書をご持参ご提示の上、お申し付けください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
   (1) 保証書の提示がない場合
   (2) 保証書にお買上げの年月日、お買上げの販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き替えられた場合
   (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
   (4) お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
   (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧、交通事故などによる故障および損傷
   (6) 粗悪環境（例えば高温多湿、塵埃の多い場所）で使用された場合の損傷
   (7) 付属品などの消耗による交換
   (8) 離島または離島に準ずる遠隔地へ修理品をお引き取りまたは配送を行う場合に要する実費
   (9) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

修理メモ

＊ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問合せください。

株式会社　日本ヴューテック
〒 211-0041　川崎市中原区下小田中3-26-6
TEL (044) 777-7771　FAX (044) 777-8880

© 2024 Viewtec Japan Co., Ltd.
VHS20-ANQ2401MWNV-SP02